



たいよう

子育て通信

平成24年 NO. 128

今夏は、ロンドンオリンピックに日本中が湧きました。戦う選手たちの姿に力ももらい、声を限りに応援する家族の姿に自分を重ね・・・身も心も熱くなった16日間でした。また、団体競技の活躍も素晴らしかったですね。仲間を信じ、助け合い、一つの目標に向かって力を出し合うと、大きな力になる。子育てや、家族とのつながりにも、きっとこんな力が必要。信じて信じられ、支えて支えられる、そんな関係を築いていきましょう。

さて、わが家の夏はといたしますと、長男にねだられてジグソーパズルを買いました。それも1000ピース！やり切れるのか？という不安もなんのその、やりだすと楽しくてアッという間に完成♪出来上がったパズルを見て「家族の共同作業やな。まさに絆きずなの作品や」とにんまり笑顔の次男。何ともうれしそうな顔を見て、家族で何かをやり遂げる素晴らしさを再確認しました。この秋も何かに挑戦してみようかな♪

東加古川子育てプラザ
TEL 423-5517
加古川駅南子育てプラザ
TEL 454-4189

♪子育てをハッピーに♪

～子どもたちは、おじいちゃん、おばあちゃんが大好き～



☆時間がゆったりあるので、孫と気持ちを通わせ、ともに支えあうことができます。

☆いい意味で育児の責任がないから、ありのままの孫を受け入れられます。

☆異なる価値観を伝えられる。さまざまな価値観に触れながら成長することは、とても大切なことです。



子育てハッピーアドバイス「ようこそ初孫の巻」

明橋大二著より引用

祖父母とのつながりを大切にし、子育てを一層豊かなものにしましょう♪

♡多世代の笑顔溢れる運動会♡



【にこにこファミリー運動会】

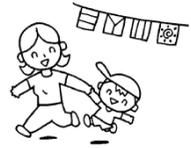
8月18日（土）総合体育館にて、夏休み恒例行事となった第8回「にこにこファミリー運動会」が開催され、100組を超える家族が、さまざまな競技を高校生や大学生たちと共に楽しみました。

4月に実行委員会をスタートさせ、夏休みの間計12回、プラザに足を運び、競技内容を考えたり、必要な物を製作したり、リハーサルをしたりと準備してきた高校生たち。「子どもたちと触れ合いたい」と気持ちを一つにし、本番を迎えました。

大人気のキャラクターが登場したり、親子で競技に参加したり・・・小さな子でも楽しめるように工夫された内容はどれも楽しく、アツという間に時間が過ぎていきました。ママの代わりに、子どもと手をつないで走る高校生。歓声を上げてはしゃぐ子どもたちのようすを優しく見つめる高校生。どの子の顔もイキイキと輝いていて、運動会だからこそ出来る“ふれあい”ができたようです。

『高校生のアンケートより』

☆子どもがかわいすぎる ☆楽しそうにしている姿を見て楽しくなった
☆「ありがとう」と言ってもらってうれしかった
☆子どもが楽しんでいるのを見ている親がうれしそうだった



『保護者のアンケートより』

☆うれしくて涙が出ます ☆高校生の頑張りに感動した
☆いつも以上に子どもの笑顔が見られた ☆みんな良い子でうれしかった
☆「大きくなったね」と声をかけてもらえてうれしかった
☆高校生のみなさんが良いパパ、ママになれるよう祈っています

高校生らの優しさや頑張りに感動した保護者と、子どもたちの無条件のかわいさに心癒された高校生たち。お互いが心を寄せ合い、温かい気持ちになれたのでしょ。自然と笑顔が溢れる、ステキな運動会でした。

☆ここもチェック☆

次世代の親育て事業“わくわく子育てカレッジ”がスタートしています。高校生や大学生が子育てについて学び、託児体験やクリスマス会などを開催します。どうぞ温かく見守ってください。





はは 斜めの関係を大切に



子育てをするにあたり、子どもにとって縦の関係とは、親や先生。横の関係は友人など同世代。今、その上に斜めの関係がとても重要だと言われています。斜めの関係とは、どんな人のことでしょうか。

祖父母、地域の人、子育てサークルのママ、中・高・大学生などを指すそうです。祖父母は孫にとって文句なく、これでもかとかわいがってくれる存在であり、親世代にとっても貴重な子育ての戦力です。

自分の子どものことを「なんて、ぐずで、のろまな子なんだろう」と思ったとしても、おじいちゃんが「そうかなあ、慎重で、ゆったりしていて、この子の転んだ姿なんて見たことないよ」と、言ってくれたりすると「そうかも？」とも思うことが出来ます。斜めの関係とは、お互いを違った角度から見やすい関係でもあると思います。

当プラザでは、地域の祖父母世代が子育てについて学んだ後、「シニアオープンルーム」を開催しています。毎回大勢の親子がやって来ます。「来るだけでほめてくれるから、うれしい」と言うお母さん。シニアボランティアさんは「雨が降るのによく来てくれたね」と、当たり前のことを褒めてくれるって素晴らしい。

ある調査で、専業主婦の母親と共働きの母親に、承認欲求についてアンケートをとると「褒めてほしい。認めてほしい」と答えたのは、専業主婦50%、共働き32.4%で、15ポイント以上の差が出ています。子どもと二人っきりで向き合えばかりの日常では、褒められることなどほとんどありません。だからこそ、専業主婦の母親は褒めてほしいと思っている人が多いわけです。このように斜めの関係の中では、自己肯定感を育むことも出来ます。親自身が自己肯定感を持っていてこそ子どもも自己肯定感が育つのです。

高校生・大学生との関係も同じです。



『あなどるなかれ、斜めの関係』です。

さあ、いい季節です。いろんなところへ出かけてみましょう

(もちろん、子育てプラザも多世代交流していますよ。)

♡ママのための絵本が入りました♡

加古川清流ライオンズのみなさんより図書カードを寄付していただきました。そのカードで『ママのための絵本』を購入し、東加古川子育てプラザの事務所カウンターに置いています。



子育てに少し疲れたとき、ストレスがたまったときなど、一度手に取って読んでみてください。きっとホッとして、読み終わるころには肩の力が抜けていると思いますよ。

ママを癒す本
大集合！！

【わたしがあなたを選びました】

作 鮫島浩二

【お母さんはめっちゃ忙しい】

作 とも子

【ママ】

作 むろそのくみ・まなべなほ

【あやちゃんのうまれたひ】

作 浜田桂子

【あなたがとってもかわいい】

作 みやにしたつや

【あなたがだいすき】

作 鈴木まもる

【うまれてきてくれてありがとう】

文 にしもとよう

【ちょっとだけ】

作 瀧村有子

【かみさまからのおくりもの】

作 ひぐちみちこ



～ちょっとほっこり、いい話～♡♡

ロビーでの出来事です。親子四人（パパ・ママ・二人の子）が昼食の後『ママのための絵本』を読んでいました。ママが涙を流し、パパが「泣かんでもええやん」と優しくなぐさめていました。「いい本でしょう」と声をかけると「本当にいい本ですね。初心に戻って頑張ろうと思えます」と言ってくれました。とっても素敵なパパとママだね♪

【プラザを親子の学びの場に】

☆きらりing編集室☆

子育てプラザでは、スタッフがオモチャの片づけ、危険な遊びや、お子さんから目を離している保護者への声かけなどをしながら、定期的に巡回しています。そんな中でも時々、オモチャの取り合いなどのトラブルが起こり、嫌な思いをしたというママの声を聞きます。でも、そんな経験も子どもには必要です♪「子育ては育ち合い」とも言われます。子どもに注意したり、教えたりしながら、どのようにすれば「うまく遊べるか」を親子で学びつつ、共に育ち合っていきましょう。プラザでお待ちしています。